

アクセスルートの検証事業で寄せられた意見(まち歩き点検の点検結果および今後の対応等について)

わかりやすい(わかりやすく一貫した案内誘導を行う。)

(事前に情報を入手できるか、目的地まで一貫した案内誘導があり迷わないか、経路を見つけやすく覚えやすいか、道を尋ねやすいか)

項目	場所	点検結果	検討内容	協議先
案内板	駅改札	案内サインが少し文字が小さい。	看板の更新の機会を捉え、文字の大きさの変更を検討してもらえるようお伝えする。	西武鉄道株式会社
		音声案内があるとよい。	駅改札の音声案内について、要望が出ていることをお伝えする。	
	フロア案内図	文字のみだとわからないので、ピクトグラムがあるとよい。 漢字にはふりがながあるとよい。	フロア案内の見直しの機会を捉え、ピクトグラムの追加やふりがなの追加など、ユニバーサルデザインの視点での配慮をしてもらえるよう依頼する。	ココネリ管理組合
	ペDESTリアンデッキおよびバス乗降場	案内板まで誘導用ブロックが敷設されているが、案内板は文字情報のみのため、点字や音声案内があるとよい。	視覚障害者が地図の内容を理解できるように、表示方法や案内方法については継続的に検討していく。	練馬区
		バスの番号の表示があるが、発着所が多いのでわかりにくい。	何の情報が必要なのかを整理した上で、必要に応じてバス会社等に表示方法や内容の変更等を要望する。	バス事業者
	各施設出入口	バリアフリー設備に関するピクトグラムについては、何があるのかはわかるが、どこにあるのかがすぐにわからない。	各設備が複数のフロアに分かれている場合は、施設案内図のピクトグラムと見比べられるようにするなど、設置位置に配慮する。	練馬区
	施設名	樹木が繁茂してしまい、練馬文化センターの施設名が一部が隠れてしまっている。	樹木の管理を行う。 新しい施設等は樹木の影がない場所へ施設名を掲示できるよう、設計段階から配慮し、当該施設については、改築等の機会を捉えて位置を変更する。	
	バス乗降場付近(ウ-②)	練馬総合運動場公園の施設誘導板があるところに「練馬文化センター」の施設誘導板を設置し、練馬文化センターのアクセスルートを示した方がよい。	「練馬文化センター」の施設誘導板を追加する。	
	大江戸線A2出口付近(エ)	区民・産業プラザがココネリと同一建物だとは結び付きにくい。	通称名がある区立施設については、通称名も併せて記載するなど、誰もがわかりやすい標記内容にできるよう、検討する。	
		大江戸線利用者はこの位置でもよいが、西武線利用者にとっては、交番の近くにあった方がより分かりやすい。	駅の改札が複数ある場合の施設誘導板の設置位置については、どの出口からも見える位置にあるのが望ましい。更新の機会等を捉え、設置位置については再検討する。	
	千川通り(オ-①)	アクセスルートとして指定していないルート上にも施設誘導板があるので、整理した方がよい。	目的地まで複数経路がある場合の施設誘導板は、混乱を招かない位置に設置することが望ましい。	
	やすらぎ歩道橋付近(カ)	エレベーターの位置を示す看板がせっかくあるが、樹木で隠れて見えない。	看板の位置が変更できるか検討する。 樹木の管理を依頼する。	
		エレベーターのサインはいくつかあるが、意識してみないとわからない。	エレベーターのサインが一部高いところにあるため、探しにくい。サインを設置する際は、見やすい高さに設置できるようにする。	
		エレベーターの位置を音声案内で教えてもらえるとよい。	音声案内は、周辺環境等により設置が難しいまたは設置しても活用しにくい場合がある。音声案内の活用については、今後も継続的に検討が必要。	
触知案内板があるが、内容がわかりにくく、すり減っている。		やすらぎ歩道橋工事等の機会をとらえ、反対側と同様に内容を更新しわかりやすくする。		
誘導鈴	練馬区役所文化センター	誘導鈴の音が少し小さい。	音量を大きくできるか検討する。	

歩きやすい（屋内外に関わらず、連続的でゆとりのある歩行空間の確保、円滑な垂直移動、管理境界の円滑化に配慮する。）

（ゆとりをもって安全にすれ違える、高低差や上下移動のある場所で負担なく円滑に移動できる、管理境界部分でスムーズな移動が途切れない、移動途中で休憩ができる。）

項目	場所	点検結果	検討内容	協議先	
視覚障害者 誘導用ブロック ※概ね連続敷設されている。	ペDESTリアン デッキ (ア)	鋸タイプでも感覚的には問題はない。一部鋸が抜けているところがあるがそれほど気にはならない。(直した方が望ましい。)	鋸タイプは抜けてしまうことがあるので、適切に維持管理する。	練馬区	
		駅の改札に向かうまでの間に、誘導用ブロックが3種類存在していてわかりにくい。	管理境界が異なっても、形状・色等は統一されていることが望ましい。統一が難しい場合の連続性の担保については、引き続き検討が必要。		
		扉が閉まる箇所に1枚だけ警告ブロックが敷設してあり、わかりにくい。	時間帯によって運用が変わる部分での視覚障害者誘導用ブロックの敷設は、わかりやすさと安全性の両面から引き続き検討が必要。		
		線状ブロックはできるだけ直線でつながる方がよい。	視覚障害者が迷わないように、動線はなるべくシンプルがよい。改修の機会等を捉えて、敷設位置の変更を検討する。		
		エレベーターまでの誘導用ブロックは、操作ボタン前に警告ブロックがあるとよい。	操作ボタン等にたどり着きやすいように、警告ブロックを適切に敷設する必要がある。改修の機会等を捉えて、変更する。		
	駅構内 バス乗降場 (イ)	遠回りになっているところがあるが、エレベーターがあるので迂回するのは仕方ない。	—	—	—
		バスの乗降口からは連続敷設されており問題ない。			
	横断歩道	横断歩道の手前の警告ブロックは、二重に敷設するなど、飛び出さないような安全措置をもう少ししてほしい。	敷設ルールに従って、安全に横断歩道を横断できるような敷設方法とする必要がある。維持管理等の機会を捉え、敷設方法等が適切かどうか確認する。	練馬区 東京都	
		敷設方法は統一されているとよい。			
	練馬文化センター までの経路 (ウ)	植栽にぶつかりそうになる箇所はあるが、ガイドヘルパーがいれば大きな問題はない。また、十分な幅員があるので、車いす等は安全に利用ができる。	植栽の適切な維持管理を依頼する。	練馬区	
		駐車場の車が出入りする部分の手前に警告ブロックがあるとよい。	より安全に通行できるように、警告ブロックの敷設を検討する。		
		練馬文化センターの入口は誘導用ブロックが遠回りになっているので、敷設方法の工夫が必要。	横断歩道への接続をするために、現在の敷設位置になっている。維持管理等の機会を捉え、敷設方法を見直す。		
	千川通り (工)(オ)	大江戸線の出入口前の警告ブロックが複雑でわかりにくい。	横断歩道への接続をするために、現在の敷設位置になっている。維持管理等の機会を捉え、敷設方法等検討いただけるよう、依頼する。	東京都 練馬区	
		工事の囲いが歩道にはみ出し、狭くなっていて歩きにくい。	工事期間も安全な通行ができるよう、敷設位置を仮施工で変更するなど、必要に応じて柔軟な対応を検討いただけるよう、依頼する。		
		店舗前に自転車があり、誘導用ブロックにかかるので危ない。	歩道上には障害物になるようなものを置かないよう、周知を行う。		
		バス停の誘導用ブロックで一部不連続の箇所がある。	なるべく不連続箇所がなくなるよう、機会を捉え設置いただけるよう依頼する。		
		マンホールの上で、誘導用ブロックが途切れる。	なるべく不連続箇所がなくなるよう、機会を捉え設置いただけるよう依頼する。		
やすらぎ歩道橋付 近	エレベーターの方に誘導できるように、敷設位置を変更してもよいのではないか。	敷設位置については、再度検討が必要。	練馬区 西武鉄道株式会社		
練馬駅西側 (ケ)	不陸により誘導用ブロックが少し沈んでいる。	適切に維持管理を行う。			
	駅の階段の警告ブロックが少し滑る感じがする。	機会を捉え、滑りにくい素材へ変更してもらえるよう要望する。			

歩きやすい（屋内外に関わらず、連続的でゆとりのある歩行空間の確保、円滑な垂直移動、管理境界の円滑化に配慮する。）

（ゆとりをもって安全にすれ違える、高低差や上下移動のある場所で負担なく円滑に移動できる、管理境界部分でスムーズな移動が途切れない、移動途中で休憩ができる。）

項目	場所	点検結果	検討内容	協議先
休憩用設備		※当日の意見交換のみ	疲れやすかったり、足腰が痛かったりするなどもあるので、ルート上にベンチがあることが望ましい。一方、維持管理の問題もある。 きちんと管理してもらうためには、区立施設や店舗等の敷地内にあるのが望ましい。敷地に余裕がある場合は、設計段階からベンチを設ける計画にしたり、不特定多数の方が来るような店舗に、ベンチが置けそうなスペースがある場合は、区からもベンチの設置について働きかけをするなどする。	
スロープ	経路全般	概ね問題はないが、駅構内は自走式だと少し勾配が厳しい。	—	—
幅員	経路全般	概ね問題はないが、工事箇所については歩行者への配慮が必要。	工事期間も安全な通行ができるよう、配慮する。（配慮を依頼する。）	練馬区 東京都
	西武線西口（ケ）	植栽があることによって狭くなっている部分がある。	幅員を確保する必要があるところは植栽をなくしている箇所もあるので、今後もその他の基準を確認しながら、対応を検討する。	練馬区
エレベーター	駅付近（イ）	乗車の際と降車の際で扉が異なるが、どちらの扉が開くのか案内がないので戸惑う方もいるかもしれない。	かご内に乗車時と降車時の扉の向きが異なる旨を掲示する。	練馬区
		副操作盤の位置がわかりにくいのではないかな。	エレベーターの入れ替え時に、わかりやすい配置を検討する。	
	西武線西口（ケ）	西口にもエレベーターがあるとよい。	エレベーターの設置の要望があることをお伝えする。	西武鉄道株式会社
エスコートゾーン	駅→文化センター	エスコートゾーンの設置があるとよい。	エスコートゾーンの設置の要望があることをお伝えする。	警視庁
	セブンイレブン→りそな銀行			
	駅→千川通り	突起がすり減っていてわかりにくい。	適切な維持管理を依頼する。	東京都
信号 音響信号機	駅→文化センター	青信号の時間が短い（渡り切る前に赤になってしまう。）	青信号の時間延長の要望があることをお伝えする。	警視庁
	文化センター→駅	音響信号機の点字が破損している。	適切な維持管理を依頼する。	
	セブンイレブン→りそな銀行	音響信号機があるとよい。	音響式信号の設置の要望があることをお伝えする。	
段差	バス乗降場	不陸があるため、平坦になるよう是正した方がよい。	機会を捉えて、段差を是正する。	
その他	自転車マナー	マナー向上が必要。	自転車のマナーについて周知啓発を行う。	練馬区
	車椅子駐車区域	屋根がないので雨の日等が大変そう。	改修の機会等を捉えて、屋根の設置や雨天時の影響を受けない場所への移設等を検討する。	

アクセスマートの検証事業実施後の対応等

1 練馬駅周辺アクセスマートの検証事業の結果について

- ・概ね連続性が担保された整備になっていた。
- ・案内板等については、設置位置や記載内容等について、整理すべき課題がまだある。(音声案内のあり方、触知案内板、緊急時の対応等)
- ・関係機関へ要請している整備等については、整備の実施まで時間がかかることが多い。(音響信号機およびエスコートゾーンの設置等)
- ・管理者が異なる場合の、バリアフリー整備の統一がどこまで図れるか。(視覚障害者誘導用ブロックの設置方法やブロックの種類等)
- ・休憩場所(ベンチの設置)については、管理の問題も含め課題がまだある。
- ・バリアフリー整備だけではない課題も、改めて確認する機会になった。(路上障害物や自転車マナー等)



誘導用ブロックの種類が違っている。

2 検証事業の結果を受けた今後の対応

◎対応していくもの

- ・樹木や既存設備(点字の剥がれや誘導鈴の音量等)の適正管理
- ・関係機関への継続要請
- ・バリアフリー設備の適正利用の推進 ※事業番号33 ユニバーサルデザインの理解の促進 (適正利用についての意識啓発)
- ・他の駅におけるバス乗降場の視覚障害者誘導用ブロックの敷設状況確認

△検討等が必要なもの

- ・案内板の内容や音声案内
- ・休憩場所(ベンチの設置)を増やしていくための取組(アクセスマート上の店舗等への働きかけ)
- ・管理境界が異なる部分における対応
- ・工事が入ることにより、一時的に使用できなくなる際の対応(依頼)方法



樹木の繁茂で隠れてしまっている。



路上に店舗看板が出ているため、視覚障害者誘導用ブロックを頼りに歩いていた際、ぶつかる危険がある。

3 検証事業を実施することについて

- ・区民意見に基づいて実施したバリアフリー整備の状況を確認することで、整備の有用性を確認するとともに、新たな課題の発見につながる。
- ・バリアフリー設備等の定期的な点検ができる。

➔ スパイラルアップ
他の駅においても必要